

FLB-86 Yaesu FT-817/818 ND / Elecraft KX3 用 内蔵バッテリーパック 使用法マニュアル



本品は八重洲 FT-817ND / FT-818 / エレクラフト KX3 用 内蔵型リチウムイオンバッテリーです。(KX3 では別途変換コネクタケーブルが必要で
す) バッテリーパック内蔵の保護基板は、過充電、過放電、過電流、高温
からバッテリーを保護し事故発生を防止します。

製品	定格	容量mAh	電力 Wh	電力容量比較グラフ/電圧
YaesuFNB-85		1400	13.4	9.6V
SBR-32MH		1900	18.2	9.6V
FLB-86		3200	36.5	11.4V

【重要】バッテリーには日本製日立マクセル リチウムイオン電池を使用し、保護基板を実装して安全対策を行い、約 3 年間にわたる FT-817ND への実装運用試験を行って製品の安全性と寿命などを確認しておりますが、出来る限り低価格での提供するため製品の保証に関しては、2 週間以内の初期故障のみの対応とさせていただきます。よってご購入後、廃棄までの一切をお客様の自己責任において本製品をご利用いただくこととなります。詳しくは、6502.jp にて、「Li-ion 電池の安全性」をご覧ください。

FT-817/818 へ装着

1. バッテリーカバーが閉めにくい場合は、裏側のゴム板を取り外し保管します。
2. 電池ホルダーもしくはニッケル水素電池が装着されていた場合はケーブルを外し取り除きます。
3. リチウムイオンバッテリーFLB-86 の接続をする前に、バッテリー本体を収納部に収めます。
FT-817/818 カバーのエッジで、バッテリーの絶縁被覆を傷つけないよう注意してください。
4. 極性に注意しケーブルコネクタを接続します。(配線材の色、コネクタ形状を確認してください)

KX3 へ装着 ※www.jh1ifz.com を参照してください

1. ねじ 4 本を外してバッテリーホルダーを取り除きます。(※) 絶縁ゴム板を敷きます。
2. 変換ケーブル(別売)黒色コネクタを KX3 バッテリーコネクタに接続します。(キー有・方向注意)
3. バッテリーをゴム板上に置き変換ケーブル白色コネクタを接続します。(色合わせ・方向注意)

FT-817/818 での充電

付属の内蔵バッテリー充電器で充電可能です。(満充電するには 12.8V (電池端で 12.6V) 以下の外部電源が必要です。) バッテリーを使い切った状態から充電完了までは 16 時間以上必要です。8 時間の充電を 2 回実施し、FT-817ND のバッテリー電圧表示が 12.4V を超えた時点で充電を打ち切り、充電器を取り外してください。充電のため外部電源装置を利用する場合は、電圧を 12.6V に設定した直流電源装置を使用します。※過充電防止のため 12.8V を越えてはいけません。使用しているバッテリーの充電電圧上限が 12.9V (単セルあたり 4.3V で 3 セル直列接続) と指定されているためです。**外部電源を接続したとき FT-817/818 は設定した充電終了後もトリクル充電を継続します。このため、バッテリーは過充電になりガスが発生して膨張してしまいます。外部電源を常時接続する場合は、FT-817/818 が Hi パワー送信可能な 12.0V 電源をお使いください。**

KX3 での充電

充電開始時のバッテリー電圧は 10.6V 以下であることが必須です。これ以上ですと“BAT ERROR”を表示して充電は開始されません。また、充電中に充電を中止した場合の電圧が 10.6V を超えていると充電は再開しませんので、中断することなく充電を続けてください。外部電源電圧は 13.8V (満充電には 14.2V 必要)、充電時間は 10.6V からの場合は 12 時間程度、9V からの場合は 16 時間程度必要です。

バッテリー保護機能について

本品は、過充電（約 13V で充電停止）、過放電（約 7.4V 100mS で出力停止）、過電流（約 7.5A 10mS で出力停止）、過熱過電流（温度ヒューズ 139℃ 5A）からバッテリーを保護し、万が一の事故発生を防止するための保護基板をバッテリーパックに内蔵しています。但し、リチウムイオンバッテリーは過放電により充電が不能となりますので、長期間(6 か月以上)使用しない場合は、50～60%充電状態で保管し、規定電圧（約 8 V）以下にならないよう注意してください。

FLB-86 リチウムイオンバッテリー取り扱い上の注意

下記の事項は本品に限らずリチウムイオン電池を使用する場合、厳守する必要のある事項です。詳しくは、6502.jp にて、「Li-ion 電池の安全性」をご覧ください。

危険（この状態に遭遇したバッテリーは継続使用すると破裂・発火する可能性があります）

バッテリーを水や液体に濡らさないでください。バッテリーを分解しないでください。
バッテリーを外部から加熱したり火の中に入れてたりしないでください。
バッテリーを落下させたり、強い衝撃を加えたりしてはなりません。
バッテリーの摂氏零度以下における充電は厳禁です。
バッテリーの過充電は、漏液の可能性と発火の危険性を高めます。

警告（身体や使用機器に害を与える恐れがあります）

バッテリーの外装が傷ついた場合、FT-817ND の内部回路基板に損傷を与える恐れがあります。
異臭を感じたり、変色、発熱、変形したり、いつもと異なる状態を認めた場合は、直ちに使用を中止し、装置から取り外してください。発熱・発火の恐れがあります。

注意（事故につながり身体に障害を与える可能性や、バッテリー損傷の可能性あります）

直射日光下や陽の当たる場所に置かれた車中など、高温にさらさないでください。購入時と異なる腐食、異臭、発熱を認めたバッテリーには使用しないでください。
万が一バッテリーからの漏液が皮膚や衣服に触れた場合は、直ちに水道水で洗い落とし、専門医の判断を仰いでください。
バッテリーは、満充電にしないほうが長寿命です。長期保管時は 60%充電がお勧めです。(11.4V 推奨)
長時間バッテリーを使用しない場合は、FT-817ND / KX3 より取り出し保管してください。
バッテリーは使用しない場合も 6 か月ごとに電圧を確認し 10V 以下の場合は充電してください。
バッテリーには寿命があります。使用可能時間が極端に短くなった場合は使用を中止してください。

バッテリー充電時・外部電源運用時

<重要>FT-817ND に外部電源装置を接続する場合は、電源装置の出力電圧を 12.8V より上げないでください。FT-817 は充電終了後も小電流充電しますので、過充電によりバッテリー寿命を縮めるばかりでなく危険です。電源を 12.0V に設定し、出来る限り切断することをお勧めします。

警告 規定の方法で規定時間充電しても充電できない場合は、さらなる充電は禁止です。破裂や発火の危険があります。充電は +10℃～+45℃の環境下で行ってください。これ以外では、正常に充電が行われずバッテリーが発熱、損傷する危険があります。特に 0℃以下での充電は厳禁です。

危険 本品は、Yaesu FT-817ND・Elecraft KX3 用です。他の用途では使用しないでください。

注意 バッテリーは下記の温度範囲以外では使用しないでください。

使用時 -20℃ ～ +60℃ **保存時**(1 か月を超える) -20℃ ～ +35℃ (50～60%充電状態)

最新情報は <https://6502.jp> をご覧ください。